

国宝瑞巖寺本堂(瑞巖寺HPより)



宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた
平川 新

未来への航路

塩竈から瑞巖寺へ

メキシコ大使のビスカイノが、スペイン船の寄港地を探するために仙台南沿岸を探検しました。その様子を『金銀島探検報告』から追ってみましょう。

最初の調査地は塩竈でした。1611年12月15日に塩竈で宿を取ったあと、塩竈湾や松島湾を視察しています。どこかの浜のことかわかりませんが、小さな船の港としてはよいが、スペイン船の寄港には向いていないとあります。

松島では瑞巖寺を見学しました。ガルシアのサンティアゴがエルサレムのように、大勢の人が巡礼に来ていると驚いています。スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラは

キリスト教の聖地で、サンティアゴ巡礼の道として知られています。エルサレムはイスラエルにあります。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の聖地とされています。瑞巖寺はヨーロッパの有名な寺院や聖地のような場所だということです。

瑞巖寺は戦国時代末には廃墟同然にまで衰退していましたが、仙台を藩都に定めた伊達政宗が復興に着手し、1609年(慶長14年)に完成させています。瑞巖寺見学は政宗が勧

⑬ビスカイノとソテロ、

瑞巖寺を見る

めたとありますので、完成したばかりの瑞巖寺をビスカイノに見せたかったのでしょうか。

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いてい

政宗が石仏を破壊した？

彫刻や細工が知られる限り最もすばらしく、この世に、石のイスコリアル、木の松島に並ぶものはないとまで賞賛しています。イスコリアルというのはスペインにある修道院のこと、王宮としても使われていました。ヨーロッパの石造建築と日本の木造文化を対比し、瑞巖寺が最高級の価値をもつ寺院だと評価したのです。



瑞巖寺孔雀の間(瑞巖寺HPより)

ますが、これにはビスカイノが一緒だったと書かれています。

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いてい

瑞巖寺を見る

ますが、これにはビスカイノが一緒だったと書かれています。

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いてい

ますが、これにはビスカイノが一緒だったと書かれています。

瑞巖寺を見学したとき、宣教師のルイス・ソテロも一緒だったとビスカイノは書いています。イタリヤの歴史家アマティーの『伊達政宗遣欧使節記』は、ソテロの証言をもとに日本のことも書いてい



サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂(wikipediaより)

このように瑞巖寺はヨーロッパ人が見ても感嘆するような寺院だったのですが、ソテロは私たちが驚くような

東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26―31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。

ひらかわ あらた
昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。